



SATOCeシリーズ セットアップガイド

S A T O

目次

1. はじめに	P1
2. セットアップ手順	
付属品の確認を行ってください	P1
プリンタドライバインストールまでの作業手順	P2
プリンタ本体の準備を行ってください	P3
シリアルインタフェース接続	P4
パラレルインタフェース接続	P6
LAN インタフェース接続	P7
USB インタフェース接続	P8
3. ネットワークユーティリティ	
はじめに	P9
プリンタ本体を確認してください	P9
ネットワークユーティリティを起動します	P9
プリンタに IP アドレスを設定します。	P10
その他の設定	P13
プリンタから IP アドレス等の設定情報を印字させるには	P14
4. プリンタドライバインストール方法	
プリンタドライバのインストール方法	P15
シリアルポート インストール	P19
LAN ポート インストール	P20
USB ポート インストール	P22
Windows2000/XP LPT ポートインストール	P24
5. ラベル発行までの流れ(Windows95/98/Me)	P28
6. ラベル発行までの流れ(WindowsNT4.0)	P34
7. ラベル発行までの流れ(Windows2000/XP)	P40
8. タグとラベルを切替えて使用するには	P47
9. プリンタドライバのアンインストール方法	P51
10. ファイル保存方法	P52
11. ファイル読み込み方法	P55
12. プリンタドライバ共有機能	P59
13. Q&A	P60
14. アクセサリ CD-ROM	P61
15. 注意	P64

プリンタの設置／据置き作業が行われた後、セットアップ作業を行ってください。
本セットアップガイドは、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順が記載
されています。

1. はじめに

本書は、バーコードラベルプリンタを、プリンタドライバソフトを使用して動作させるまでの説明書です。

「Windows95/98/Me」「WindowsNT4.0」「Windows2000」「WindowsXP」でプリンタを使う場合に、必要な設定方法を中心に説明しています。

本書で説明しているプリンタドライバ画面は、特に断りがない限りTR400eシリーズのものを使用しています。そのため、実際にご使用になるプリンタ機種によっては、画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

プリンタドライバとは、こんなソフトです。

- ① コンピュータで作成したデータ(文書や絵)を…
- ② プリンタに送り出し…
- ③ ラベルに印刷する作業を行います。

2. セットアップ手順

付属品の確認を行ってください。

プリンタを箱からだしましょう。箱を開けたら、添付品を確認してください。

添付品についての詳しい説明は、「取扱説明書」をご確認ください。

取扱説明書の手順にしたがって、プリンタを設置してください。

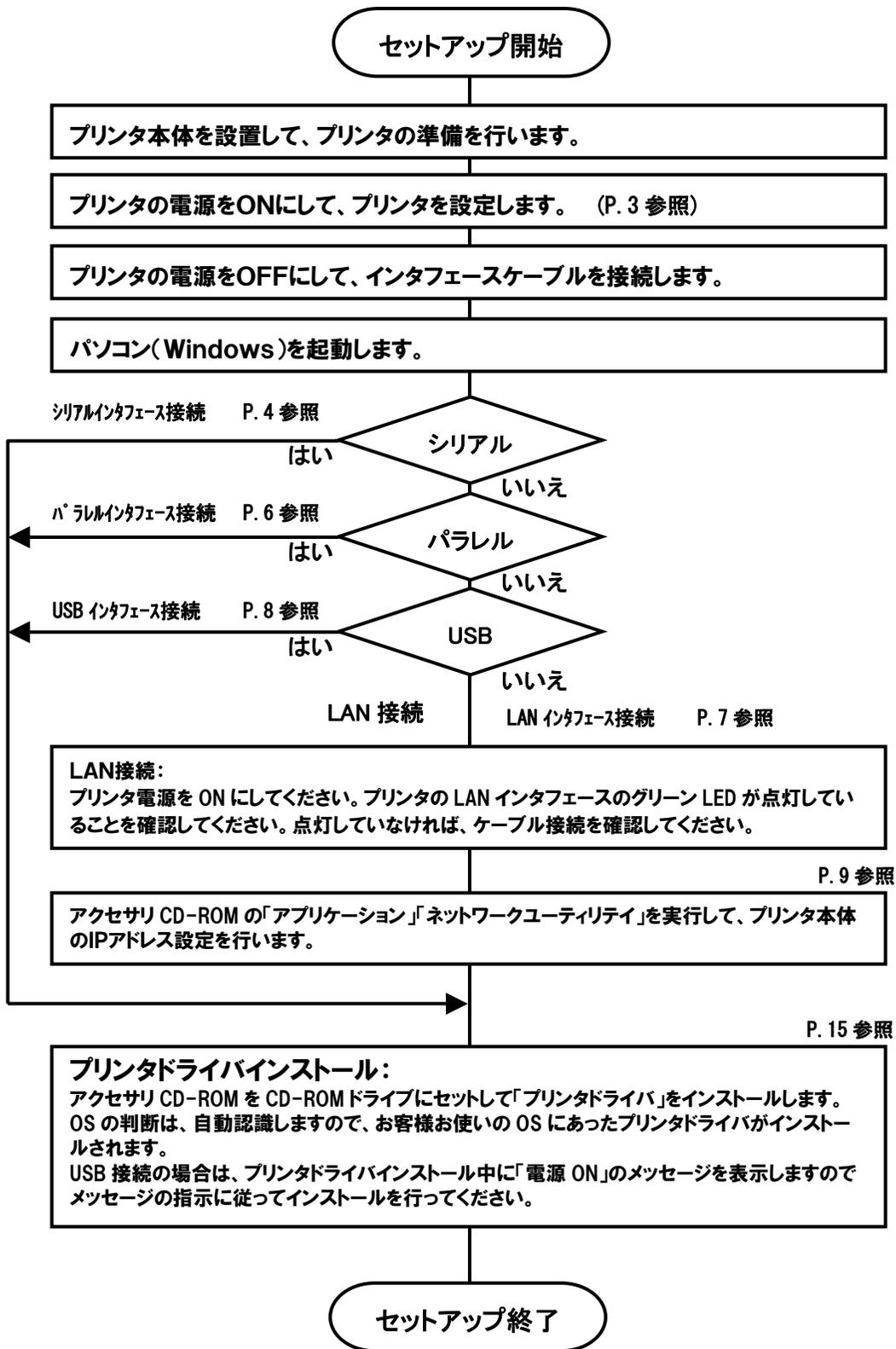
添付品

1. 保証書
2. ヘッドクリーニングセット
3. ヘッドクリーニングシート (ラッピングシート)
4. 電源コード
5. 2極アダプタ
6. リボンコア
7. カーボンリボン
8. ポス
9. ネジ
10. 取扱説明書
11. メンテナンス案内書
12. セットアップガイド (本書)
13. SATO アクセサリ CD-ROM
14. ボリューム調整用ドライバ

注意1 パラレルインタフェース接続においても、パソコンとプリンタとの間で、双方向通信を行う為必ずIEEE1284 準拠ケーブルをお使いください。

注意2 プリンタドライバは、「アクセサリ CD-ROM」に収納されています。

プリンタドライバをインストールするまでの作業手順



プリンタ本体の準備を行ってください。

準備1. 電源ケーブルをプリンタに接続してください。

準備2. ご使用になる、ラベル、リボンをセットしてください。

準備3. プリンタの電源をONにしてください。
(インタフェースケーブルは接続しないでください。)

準備4. はじめにプリンタ本体の動作条件を設定してください。

設定1. プリンタ本体動作条件設定 (ユーザモード)を設定してください。

「印字濃度レンジ」、「印字濃度」、「印字スピード」、「基点補正」、「ゼロフォント切替え」、
「漢字コード切替え」、「漢字フォント選択」、「プロポーションピッチ切替え」の各種設定を行います。
注意：詳しい内容は、取扱説明書を参照してください。
※ユーザモードを起動する場合は、**スタート/ストップ**キーを押しながら電源をONにしてください。

設定2. ディップスイッチ 2 を設定してください。

DSW2

No	機 能	説 明
1	印字方式設定	ON : 感熱方式 OFF : 熱転写方式
2	未使用	
3	ヘッドチェック	ON : 有効 OFF : 無効
4	HEX ダンプモード	ON : 有効 OFF : 無効
5	受信モード	ON : 1 アイテム受信 OFF : マルチ受信 ※LAN 接続の場合は OFF⇒周期応答ステータス ON ⇒ENQ 応答ステータス
6	ダウンロードモード	ON : 有効 OFF : 無効
7	工場設定用	
8	通信モード切替え	ON : 互換モード OFF : 標準モード

設定3. ディップスイッチ 3 を設定してください。

DSW3

No	機 能	説 明
1	印字フォント	ON : 旧フォント OFF : 新フォント
2	ピッチサイズチェック	ON : 有効 OFF : 無効
3	印字領域設定	ON : 横 100mm×縦 240mm OFF : 横 80mm×縦 120mm
4	未使用	
5	未使用	
6	未使用	
7	未使用	
8	未使用	

注意3 パソコンにあわせた通信設定を行ってください。プリンタ設定を行った後、プリンタドライバをインストールしてください。

プリンタの電源が OFF のときに、インタフェースケーブルを接続してください。

シリアルインタフェース接続

プリンタのシリアルインタフェースコネクタを確認してください。
 下図のように、RS-232Cケーブルを接続してください。

シリアルインタフェースコネクタ



RS232Cインタフェース仕様

- 通信速度 : 9600bps、19200bps、38400bps、57600bps (標準モード)
- : 2400bps、4800bps、9600bps、19200bps (互換モード)
- データ長 : 7ビット、8ビット
- ストップビット : 1ビット、2ビット
- パリティチェック : 無し、奇数、偶数
- 通信プロトコル : 4種類

READY/BUSY (ER 制御)、XON/XOFF、ドライバ専用プロトコル、ステータス 3

シリアルインタフェース接続の場合、パソコンの通信設定にあわせて、プリンタの通信設定を行ってください。

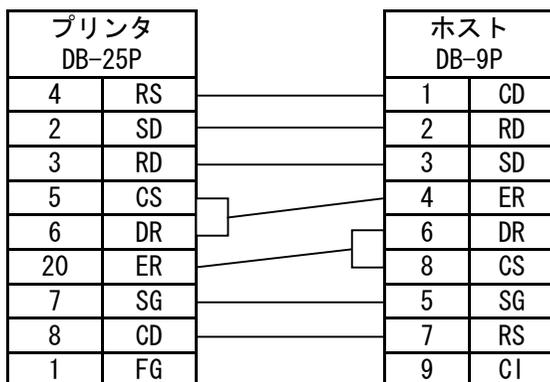
通信条件は、プリンタ本体のディップスイッチ(DSW1)で設定します。

プリンタ本体のディップスイッチ DSW1

DSW1

No	機能	説明																							
1	データ長	ON : 7ビット OFF : 8ビット																							
2	パリティ設定	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW2</th> <th>DSW3</th> <th>パリティ設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>奇数</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>偶数</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>				DSW2	DSW3	パリティ設定	ON	ON	未使用	ON	OFF	奇数	OFF	ON	偶数	OFF	OFF	なし					
DSW2	DSW3					パリティ設定																			
ON	ON					未使用																			
ON	OFF					奇数																			
OFF	ON	偶数																							
OFF	OFF	なし																							
3																									
4	ストップビット	ON : 2ビット OFF : 1ビット																							
5	ボーレート	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW5</th> <th>DSW6</th> <th>ボーレート (DSW2-8 OFF)</th> <th>ボーレート (DSW2-8 ON)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>57600bps</td> <td>2400bps</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>38400bps</td> <td>4800bps</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>19200bps</td> <td>19200bps</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>9600bps</td> <td>9600bps</td> </tr> </tbody> </table>				DSW5	DSW6	ボーレート (DSW2-8 OFF)	ボーレート (DSW2-8 ON)	ON	ON	57600bps	2400bps	ON	OFF	38400bps	4800bps	OFF	ON	19200bps	19200bps	OFF	OFF	9600bps	9600bps
DSW5	DSW6					ボーレート (DSW2-8 OFF)	ボーレート (DSW2-8 ON)																		
ON	ON					57600bps	2400bps																		
ON	OFF					38400bps	4800bps																		
OFF	ON	19200bps	19200bps																						
OFF	OFF	9600bps	9600bps																						
6																									
7	プロトコル	<table border="1"> <thead> <tr> <th>DSW7</th> <th>DSW8</th> <th>プロトコル (DSW2-8 OFF)</th> <th>プロトコル (DSW2-8 ON)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>ドライバ専用プロトコル</td> <td>未使用</td> </tr> <tr> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>ステータス 3</td> <td>ステータス 3</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>XON/XOFF</td> <td>XON/XOFF</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>READY/BUSY</td> <td>READY/BUSY</td> </tr> </tbody> </table>				DSW7	DSW8	プロトコル (DSW2-8 OFF)	プロトコル (DSW2-8 ON)	ON	ON	ドライバ専用プロトコル	未使用	ON	OFF	ステータス 3	ステータス 3	OFF	ON	XON/XOFF	XON/XOFF	OFF	OFF	READY/BUSY	READY/BUSY
DSW7	DSW8					プロトコル (DSW2-8 OFF)	プロトコル (DSW2-8 ON)																		
ON	ON					ドライバ専用プロトコル	未使用																		
ON	OFF					ステータス 3	ステータス 3																		
OFF	ON	XON/XOFF	XON/XOFF																						
OFF	OFF	READY/BUSY	READY/BUSY																						
8																									

1. ケーブル結線図



注意4 シリアルインタフェースの詳細については、アクセサリ CD-ROM「SBPLプログラミングガイド」を確認ください。

注意5 パソコンとの通信設定が合っていないと正常動作しません。インタフェースエラーになります。

注意6 プリンタドライバを使用されるときには、必ず通信プロトコルを「ドライバ専用」、受信モードを「マルチ」に設定してください。

パラレルインタフェース接続(オプション)

プリンタのパラレルインタフェースボードを確認してください。

下図のように、パラレルケーブル (IEEE1284 準拠ケーブル) を接続してください。



パラレルインタフェース仕様

IEEE1284 準拠：互換モード、ECP モード、ニブルモードをサポートします。

ECP モードは、パソコン機種によりサポートしていないことがあります。

パソコンのパラレルインタフェース仕様をご確認ください。

ECP モードは、パソコンの BIOS 設定で行います。パソコン機種によっては、Windows 上のツールソフトを使用することもあります。

注意7 IEEE1284 準拠ケーブル以外のケーブルを使用される場合、データ化けが発生することがありますので、必ずサトー推奨品をお使いください。

注意8 ご使用になる、パソコン機種がIEEE1284 をサポートしていない場合は、双方向通信ができません。

「書き込みエラー」が発生した場合、プリンタドライバのプロパティの「詳細」の「スプールの設定」で「このプリンタの双方向通信機能は、サポートしない(!)」に設定してください。この場合、プリンタのステータス情報を必要とする「ステータス監視モニタ」等のソフトは正常動作しません。ご注意ください。

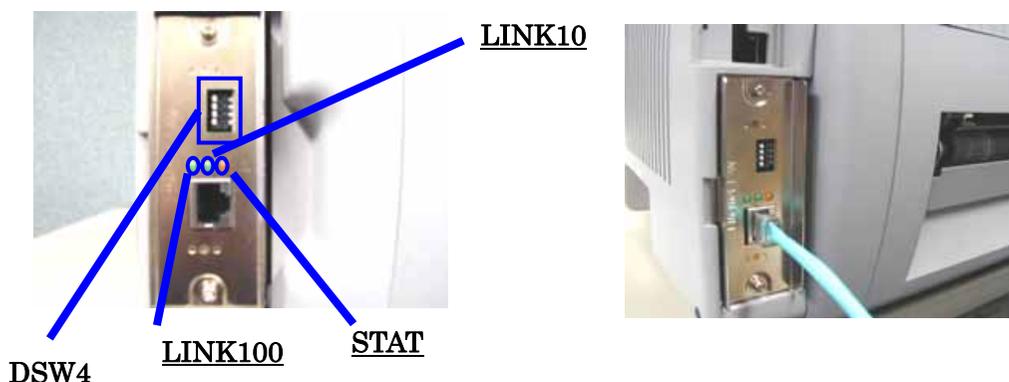
注意9 パソコン機種によっては、ECP モードの設定を行っても ECP 動作を行わない機種があります。パソコンメーカーへお問合せください。

注意10 Windows95 のバージョンによっては、双方向パラレルをサポートしていませんので、パソコンメーカーへ確認してください。

LAN インタフェース接続(オプション)

プリンタの LAN インタフェースボードを確認してください。

下図のように、LAN (UTP) ケーブルを接続してください。



- STAT : パケットを受信したとき点灯します。
- LINK10 : 接続先を 10BASE-T と認識したとき点灯します。
- LINK100 : 接続先を 100BASE-TX と認識したとき点灯します。
- DSW4 : 設定内容をプリンタから印字して確認するために使用します。

LAN インタフェース仕様

10BASE-T/100BASE-TX は自動認識します。
プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信を行います。

LANインタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境にあわせた、通信条件設定が必要です。プリンタ本体のIPアドレスを設定してください。
プリンタ本体のIPアドレスは、添付品のアクセサリ CD-ROM にあるネットワークユーティリティを使って設定します。
ネットワークユーティリティの使用方法は、P.9 以降を参照してください。

注意11 ネットワークユーティリティを使うと、パソコンからプリンタのIPアドレスの設定や、設定内容の表示・印刷確認ができます。
また、プリンタのLANインタフェースボードにある DSW4-3 を操作することで、プリンタに登録されている設定内容をラベルに印字することができます。

操作 プリンタに登録されている、IPアドレス等の設定内容をプリンタから印字させるには、プリンタの電源を OFF にして、プリンタの LAN インタフェースボードにある DSW4-3 を ON にしてから電源を入れてください。
設定されている内容(IPアドレス等)が印字されます。
注意:印字後は、プリンタの電源を OFF にして、必ず DSW4-3 を OFF にしてください。

注意12 プリンタドライバを使用されるときは、必ず受信モードを「マルチ(周期応答ステータス)」に設定してください。(P.3 参照)

USB インタフェース接続(オプション)

プリンタの USB インタフェースボードを確認してください。
下図のように、USB ケーブルを接続してください。



- 注意13** USB 接続の場合、パソコンにプリンタドライバをインストールするまでは、USB ケーブルを接続した状態で、プリンタ本体の電源を ON にしないでください。ドライバがインストールされずに電源が ON にされると Windows の Plug & Play が実行され、USB ドライバインストールメッセージが表示されますのでキャンセルしてください。USB ドライバは、プリンタドライバとともにインストールされます。
- 注意14** プリンタドライバの USB インタフェースは、Windows98/Me、Windows2000/XP のみサポートしています。
- 注意15** パソコンには、USB インタフェースを 2 ポート構成している機種があります。ケーブルの接続箇所により、「出力デバイス名」が違いますので、間違えないようにケーブルを接続してください。
- 例1)Windows98 の場合
 - 1USB & ROOT_HUB(1 ポート目)
 - 2USB & ROOT_HUB(2 ポート目)
 - 例2)Windows98(SecondEdition)/WindowsMe の場合
 - INST_0(最初に認識されたポート)
 - INST_1(次に認識されたポート)
 - 例3)Windows2000/XP の場合
 - 5 & 3bcb19f & 0 & 1(1 ポート目)
 - 5 & 3bcb19f & 0 & 2(2 ポート目)
- 注意16** パソコン機種によっては、USB バージョンがプリンタと異なるため、データ化けが発生して接続できない場合があります。事前確認を必ず行ってください。
- 注意17** パソコン機種によっては、USB バージョンがプリンタと異なるため、通信誤動作が発生します。1メートル長のケーブルを使用してください。それでも接続できない場合は、パソコンメーカーにお問合せください。

3. ネットワークユーティリティ

はじめに

ネットワークユーティリティ (Admin Manager) は、サトー製プリンタ専用のネットワーク環境設定ソフトです。

本書で説明している画面は、特に断りがない限り TR400e シリーズを使用しています。そのため、実際にお使いになるプリンタの機種によっては、若干画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

ネットワークユーティリティとは、こんなソフトです。

LAN に接続されたサトー製ラベルプリンタを、検索することができます。

検索されたラベルプリンタを選択して、IP アドレス等の条件を設定することができます。

設定状態をプリンタからラベルに印字することができます。

注意 プリンタが検索されない場合は、

- ・プリンタの電源を確認してください。
- ・プリンタの LAN インタフェースボードのグリーン LED が点灯していることを確認してください。
- ・ご使用のパソコンとプリンタがネットワーク環境に接続されているか確認してください。
- ・パソコンとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外してローカルの LAN 環境にしてください。

①

プリンタ本体を確認してください。

プリンタに LAN ケーブルを接続し電源を ON にしてください。

プリンタの LAN インタフェースボードのグリーン LED が点灯しているかを確認してください。

②

ネットワークユーティリティを起動します。

1. 「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
2. 「メインメニュー」画面が表示されます。

注意 自動起動しない場合は、CD-ROM の「STARTUP.EXE」をダブルクリックしてください。

3. 「メインメニュー」画面より、「SATO0e プリンタ」をクリックします。
4. 「サトックシリーズ プリンタ」画面より、「ユーティリティ」をクリックします。
5. 「ユーティリティ」画面より、「ネットワークユーティリティ」を選択し「起動」をクリックします。
6. ネットワークユーティリティ「Admin Manager」が起動します。

3

**プリンタにIPアドレスを設定します。
まず、設定を行うプリンタを検索します。**

1. 「ファイル(F)」メニューから「NICカードの検索(S)」をクリックします。

※ 「NICカード」とは
LAN インタフェースボードのことです。



2. 検索されたプリンタの一覧が表示されます。

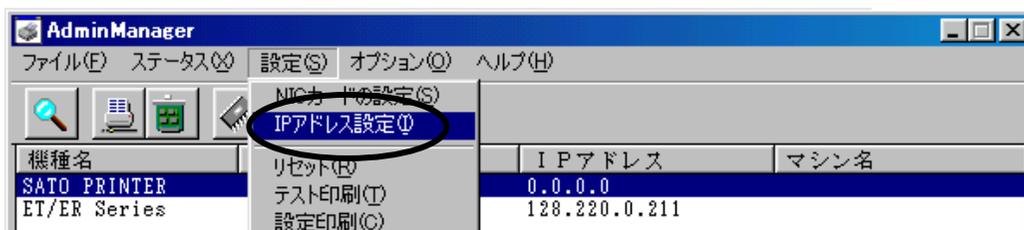
注意 タイミングにより、検索できないときがあります。繰り返し検索を行ってください。



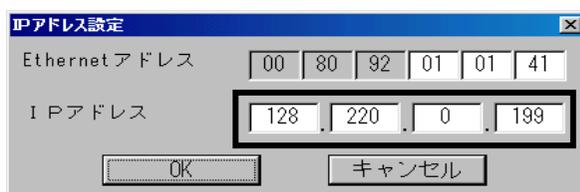
3. 設定するプリンタをクリックしてください。



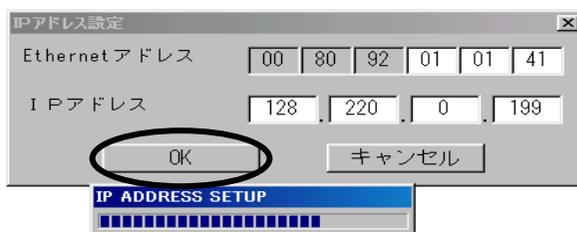
4. プリンタの IP アドレスを設定します。
「設定(S)」から「IP アドレス設定(I)」をクリックします。



5. IP アドレスを入力します。



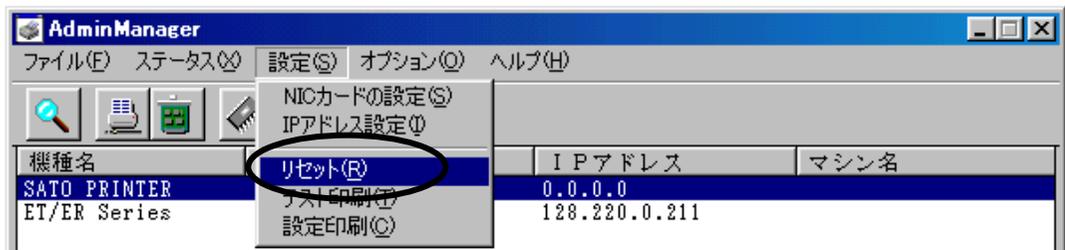
6. IP アドレスを入力後、「OK」をクリックするとプリンタに IP アドレスを登録します。



7. IP アドレスの登録を完了すると「NICカードを再起動してください。」のメッセージを表示します。「OK」をクリックしてください。



8. 「設定(S)」から「リセット(R)」を選択し、NICカードをリセットします。

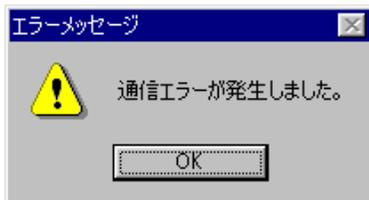


選択されたプリンタのNICカードをリセットします。
リセット後、再度、プリンタの検索（「NICカードの検索」）を行ってください。
設定されたIPアドレスのプリンタが表示されたら、プリンタのIPアドレス設定は完了です。
サブネットマスクなどの設定を行う場合、「その他の設定（P.13）」を参照してください。



ヒント

IPアドレスを設定する際に下記のエラーメッセージが表示された場合の対処方法



操作

※LANボードの初期化を行ないます。

- ①プリンタのLANインタフェースボードにあるDSW4-2を「ON」にし、プリンタの電源を入れます。
(約10秒間電源を入れた状態にします)
- ②プリンタの電源を切ります。
- ③プリンタのLANインタフェースボードにあるDSW4-2を「OFF」にし、プリンタの電源を入れます。
- ④ネットワークユーティリティの「NICカードの検索」からやり直して、IPアドレスを設定してください。

※パソコンに設定されているIPアドレスを確認し、再度IPアドレスを設定してください。

4

その他の設定

1. 「設定 (S)」 「NIC カードの設定 (S)」 をクリックします。



2. TCP/IP の設定

- ① 「DHCP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とします。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。
- ② 「RARP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、MAC アドレスから IP アドレスを認識します。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。

注意 NICカードの初期状態は、

- ・IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは「0. 0. 0. 0」
- ・DHCP、RARP は「有効」
になっています。

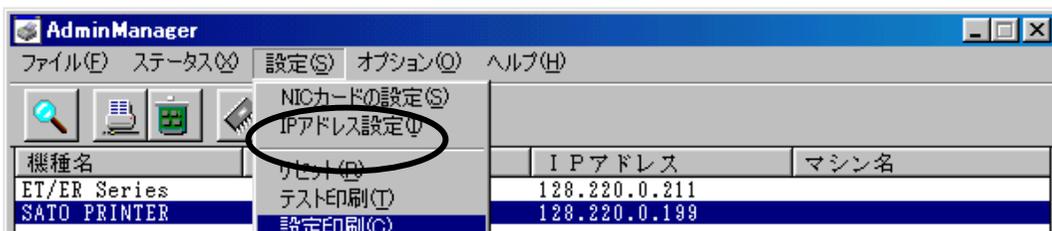
- ③ 「IP アドレス」の指定ができます。
- ④ 「サブネットマスク」の指定ができます。
- ⑤ 「ゲートウェイ」の指定ができます。



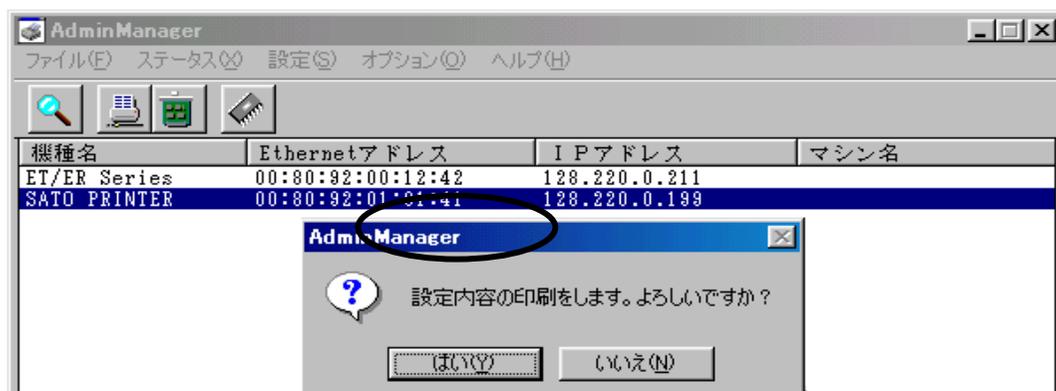
5

プリンタから、IP アドレス等の設定情報を印字させるには

1. 「設定 (S)」メニューから「設定印刷 (C)」をクリックします。



2. 「はい」をクリックすると設定内容が印字されます。



テスト印刷を行うには

- 「設定 (S)」メニューから「テスト印刷 (I)」をクリックします。

4. プリンタドライバのインストール方法

プリンタドライバをインストールする手順を説明します。

(Windows95/98/Me WindowsNT4.0 Windows2000 WindowsXP)

お願い

インストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションは、全て終了させてください。

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認して、Windows を起動します。
- ② 起動したら「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
- ③ 「メインメニュー」画面より、「SATOCe プリンタ」をクリックします。
- ④ 「サトックシリーズ プリンタ」画面より、「プリンタドライバ」をクリックします。
- ⑤ 「プリンタドライバ」画面より、インストールするプリンタを選択します。
- ⑥ 「インストール」をクリックします。



メインメニュー



サトックシリーズ プリンタ

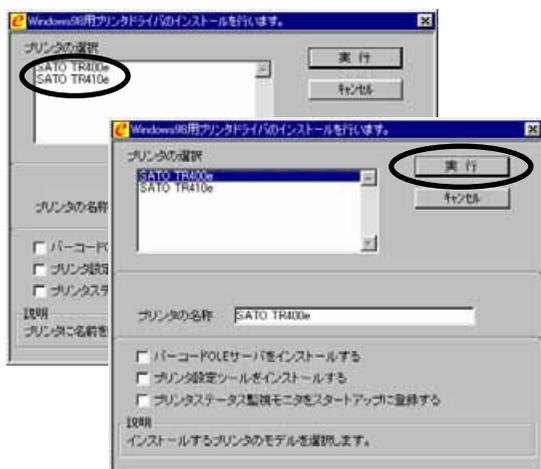


プリンタドライバ

※ WindowsNT4.0、Windows2000、WindowsXP の環境でインストールする場合、下記事項に注意してインストールしてください。

- (1) プリンタドライバのセットアップを行う場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
- (2) プリンタドライバのプロパティ設定、ドキュメントの既定値設定を行う場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
- (3) プリンタドライバを使用して発行するには、Administrator 権限ユーザーでログインするか、ドライバの「セキュリティ」タブ画面の「アクセス権」ボタンで、Everyone のアクセス権を「フルコントロール」に設定してください。

⑦ 「プリンタの選択」を行い「実行」をクリックします。



※プリンタドライバをインストールすると同時にステータス監視モニタもインストールされます。

【プリンタの選択】

インストールするプリンタを選択します。

【プリンタの名称】

プリンタドライバの名称を入力できます。

【チェックボックス】

チェック有りの場合

・バーコード OLE サーバ

ドライバインストール後に専用インストーラが起動しインストールを行います。

・プリンタ設定ツール

ドライバと共にインストールされます。

・プリンタステータス監視モニタ

ドライバと共にインストールされます。

Windowsスタートアップに登録することができます。

バーコード OLE サーバ

Windows の OLE 機能を利用し、Word などのアプリケーションに対してバーコードのイメージを表示させるソフトです。

プリンタ設定ツール

プリンタ設定をおこなうアプリケーションソフトです。

プリンタ本体で設定するため、通常はインストールする必要はありません。オンラインでプリンタ設定を行う場合に必要となります。

プリンタステータス監視モニタ

プリンタ状態を監視するモニタです。

パラレルポート インストール

注意 Windows2000/XP では、パラレルポート対応のドライバのインストール手順が異なるので P.24 「Windows2000/XP LPT ポートインストール」を参照してください。

- ⑧ 「パラレル(LPT)」をクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選択し、「OK」をクリックします。**



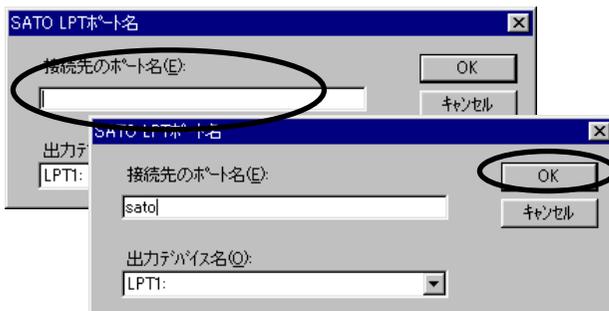
※「SATO ポート(推奨)」を選択し「OK」をクリックすると⑨に移行します。

※「標準ポート」を選択し「OK」をクリックすると⑩に移行しインストールが完了します。



※標準ポートは「LPT1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信を行わない場合に指定します。
標準ポートの「LPT1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ⑨ 「接続先のポート名(E)」を入力します。
「出力デバイス名(Q)」を選択して「OK」をクリックします。**



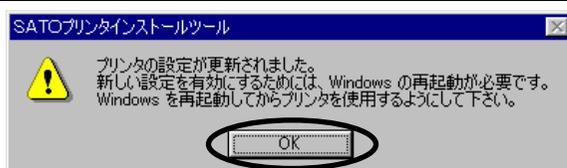
「接続先のポート名(E)」
ポート名を入力します。

「出力デバイス名(Q)」
出力先のデバイスを選択します。
通常は「LPT1」を選択します。

ヒント

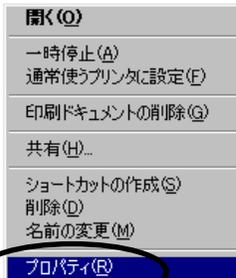
接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

- ⑩ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。**

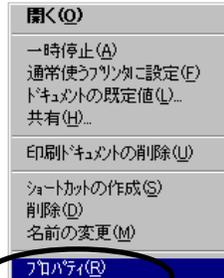


- ⑪ Windows が起動した後、プリンタの電源を入れてください。
「プリンタ」フォルダを開き、インストールしたプリンタのアイコンをクリックし、
「プロパティ(R)」をクリックしてください。

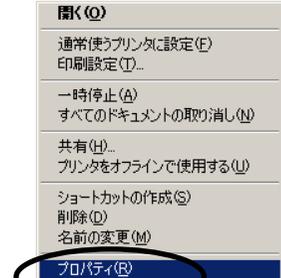
Windows95/98



WindowsNT4.0



Windows2000/XP



- ⑫ Windows95/98/Me をご使用の場合は「印字テスト(T)」、
WindowsNT4.0/2000/XP をご使用の場合は「テストページの印刷(I)」を
クリックしてください。
Windows のテストラベルが発行されます。ラベルが発行された場合はプリンタ
と接続できている状態となります。印字テストの確認が表示されますので、「は
い(Y)」をクリックします。プロパティの「OK」をクリックし、プリンタとの接続確認
は完了です。

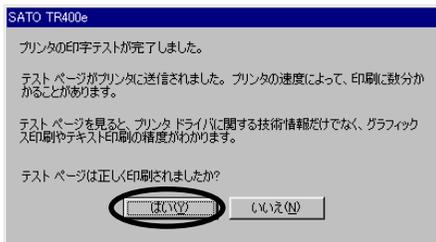
Windows95/98 の場合



WindowsNT4.0 の場合



Windows2000/XP の場合



ヒント

「プリンタドライバのテスト印字ができない場合は」

1. プリンタドライバにて指定したポート「LPT、LAN、COM、USB」のケーブルが接続されていますか。
2. プリンタの電源は入っていますか。

シリアルポート インストール

- ① 「シリアル(COM)をクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選択し、「OK」をクリックします。



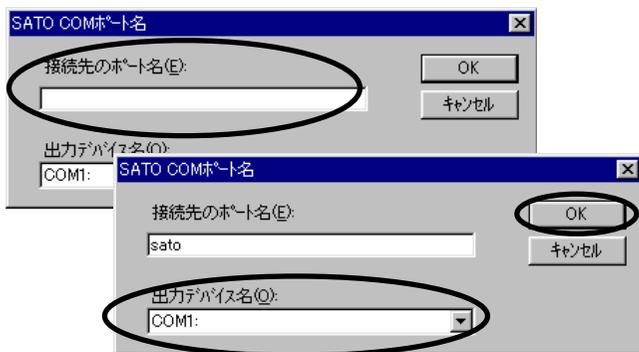
※「SATO ポート(推奨)」を選択し「OK」をクリックすると②に移行します。

※「標準ポート」を選択し「OK」をクリックすると③に移行しインストールが完了します。



※標準ポートは「COM1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信を行わない場合に指定します。
標準ポートの「COM1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

- ② 接続先のポート名(E)を入力します。 出力デバイス名(O)を選択し、「OK」をクリックします。



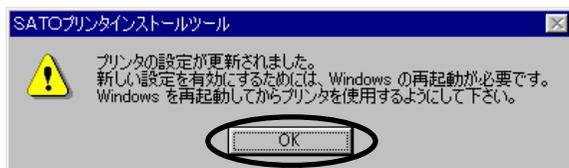
【接続先のポート名(E)】
ポート名を入力します。

【出力デバイス名(O)】
出力先のデバイスを選択します。

ヒント

接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

- ③ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。

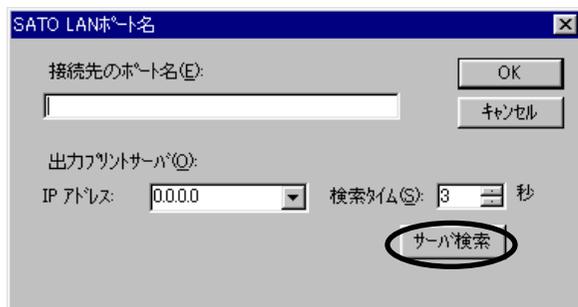


LAN ポート インストール

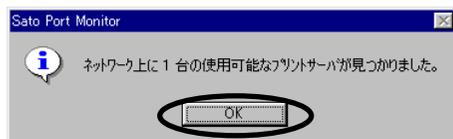
① 「LAN」をクリックします。



② プリンタ IP アドレスが指定してあり、LAN 環境下にプリンタが設置してある場合には、プリンタの電源を入れて「サーバ検索」をクリックします。



③ 「サーバ検索」により検索した結果が表示されます。「OK」をクリックし検索した IP アドレスを選択します。





ヒント

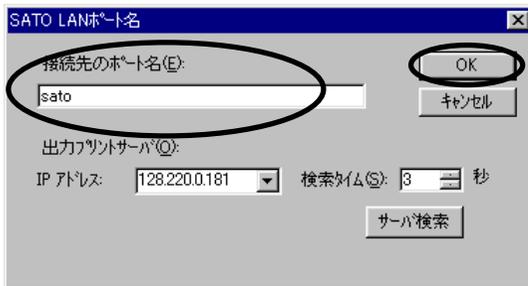
検索できなかった場合



以下の点を確認してください。

- ※ プリンタのIPアドレスは指定していますか？
- ※ プリンタの電源は入っていますか？
- ※ LAN ケーブルは接続してありますか？

④ 「接続先のポート名(E)」を入力し、「OK」をクリックします。



ヒント

接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

⑤ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



USB ポート インストール

USB ポートは、「Windows98」「WindowsMe」「Windows2000」「WindowsXP」のみ動作します。

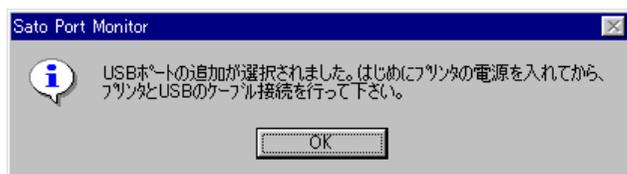
注意 プリンタの電源をオフにし、USB ケーブルをパソコンと接続します。

インストール途中で「プリンタの電源を入れる」メッセージが表示されたときに、初めてプリンタの電源を入れてください。

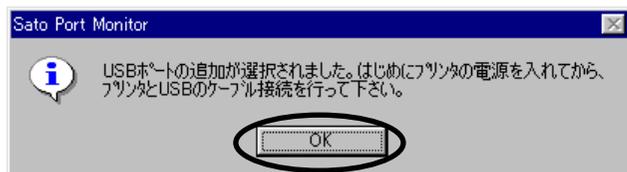
① 「USB」をクリックします。



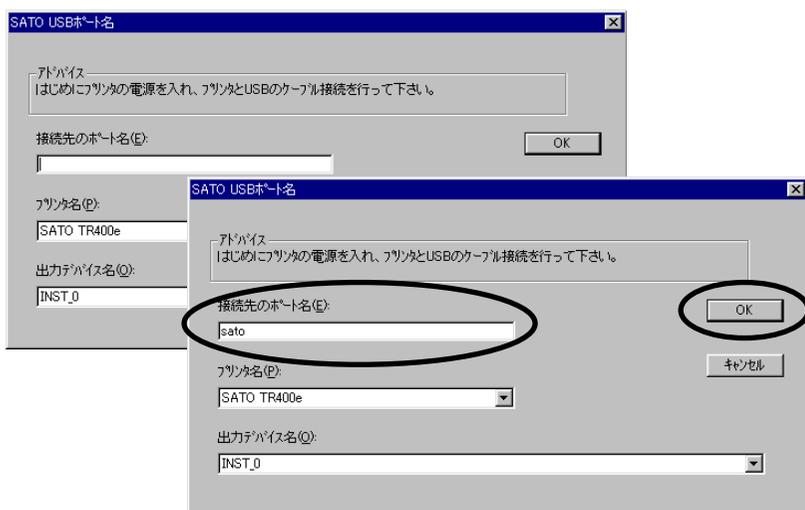
② プリンタの電源を入れます。
「ドライバ情報データベースの作成」が起動し、USB デバイスが登録されます。



③ 「OK」をクリックします。



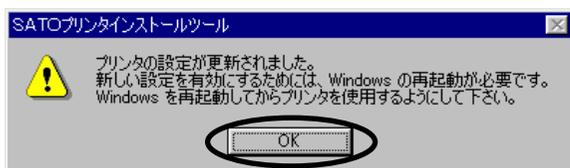
④ 「接続先のポート名(E)」を入力し、「OK」をクリックします。



ヒント

接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

⑤ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



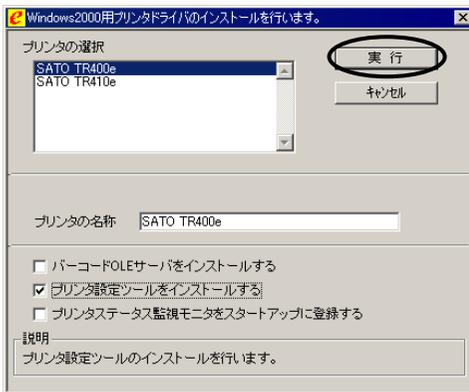
Windows2000/XP LPT ポートインストール

IEEE1284 ボードを使用する場合、プリンタドライバのインストールは、「SATO LPT ポート」をインストールする必要があります。

Windows2000/XP では、プリンタドライバをインストールしたあとに、プリンタの電源を入れた状態でパソコンを起動すると、Plug & Play が実行され「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、下記の手順でインストールしてください。

- ① プリンタドライバをインストールしている場合は、アンインストールを行ってください。
アンインストール方法は、P. 50 を参照してください。
- ② アクセサリ CD-ROM を起動させます。
- ③ 「メインメニュー」の画面が表示されます。
- ④ 「メインメニュー」画面より、「SATOce プリンタ」をクリックします。
- ⑤ 「サトックシリーズ プリンタ」画面より、「プリンタドライバ」をクリックします。
- ⑥ 「プリンタドライバ」画面より、インストールするプリンタを選択します。
- ⑦ 「インストール」をクリックします。

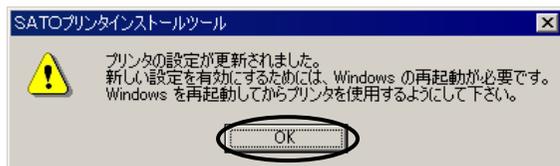
⑧ インストールするプリンタを選択し、「実行」をクリックします。



⑨ 接続先ポート「標準ポート」を選択し、「OK」をクリックします。



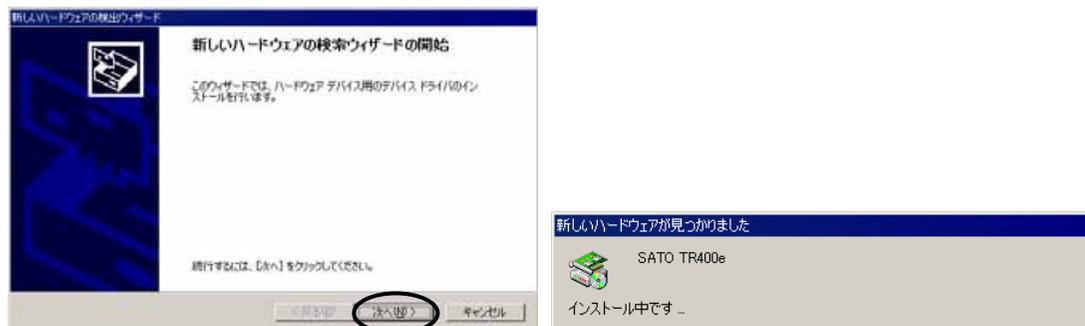
⑩ 「OK」をクリックします。プリンタドライバのインストールは終了です。



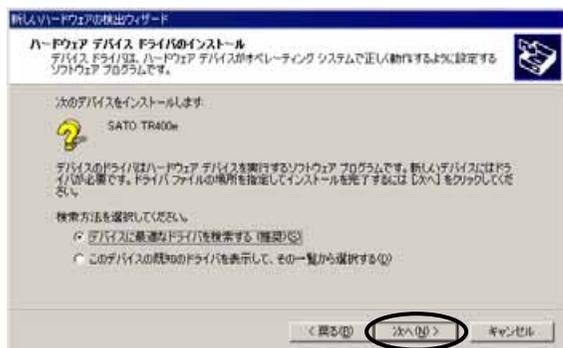
⑪ プリンタをパラレルインタフェースに接続し、プリンタの電源を入れます。

⑫ パソコンを再起動します。

⑬ パソコン画面に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示します。「次へ(N)」をクリックします。



⑭ 「次へ(N)」をクリックします。



15 「次へ(N)」をクリックします。

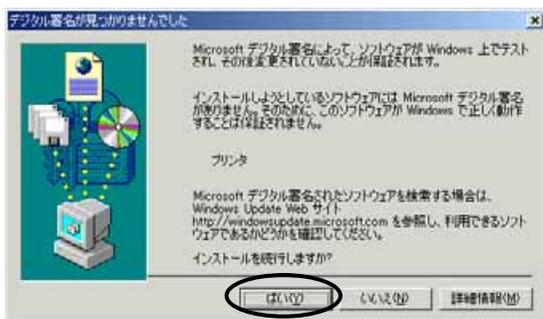


16 「完了」をクリックします。



ヒント

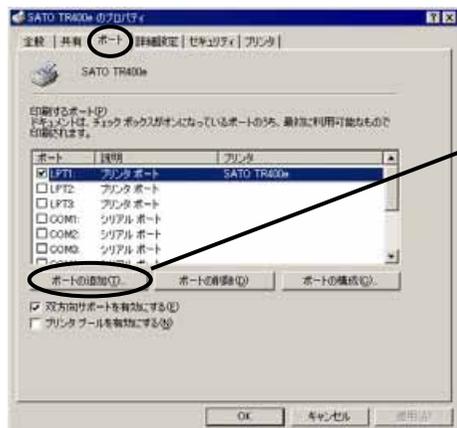
「デジタル署名が見つかりませんでした」の表示は、表示される場合と、表示されない場合があります。表示された場合は、「はい(Y)」をクリックします。



⑰ 「プリンタ」フォルダを開き、インストールしたプリンタのアイコンをクリックし、「プロパティ(R)」をクリックしてください。



⑱ 「ポート」タブを開き、「ポートの追加(I)」ボタンをクリックします。「プリンタポート」より「SATO TR LPT Monitor」を選択し、「新しいポート(P)」をクリックします。「接続先のポート名(E)」を入力し、「OK」をクリックします。「適用」「閉じる」をクリックし、インストールは完了します。



5. ラベル発行までの流れ (Windows95/98/Me)

アプリケーションソフトから作成したラベルレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してから行います。

①

プリンタドライバのプロパティを開きます

①「プリンタ」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンをクリックしてください。

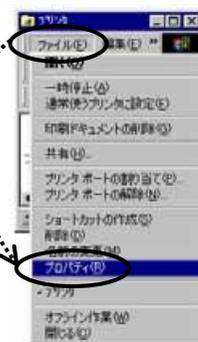
※ここでは例として「TR400e」を選択しています。

ヒント

「プリンタ」フォルダを開く一般的な方法は、 をクリックし、「設定(S)」⇒「プリンタ(P)」を選択します。



②「ファイル(F)」メニューから「プロパティ(R)」を選択してください。プロパティが開きます。



ヒント

プリンタドライバの印字設定に関する主なものは、「用紙」「動作モード」「その他」「クリエイティブォント」のシートです。



2

プリンタの状態を取得します

①「デバイスの設定」タブを選択してください。



ヒント

プリンタの設定情報を取得します。
 情報を取得する場合、プリンタの電源を入れた状態で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
 プリンタドライバをインストールしたあとは、必ず「デバイス」タブの「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

②プリンタの電源を入れてください。

③「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
 プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」、「用紙設定」の欄に表示します。

「情報の取得」操作後の「用紙設定」状態に応じた各項目の初期値は下記の通りです。

用紙設定	基準位置	ピッチオフセット	カットオフセット	仕分けマーク
タグセンタホール	+040(+060)	0	0	設定有効
タグヨコホール	+040(+060)	0	0	設定有効
タグカドR	0	0	0	設定有効
タグアイマーク	0	0	0	設定有効
ラベルギャップ	0	-12(-18)	0	設定無効
ラベルアイマーク	0	-36(-54)	-24(-36)	設定無効

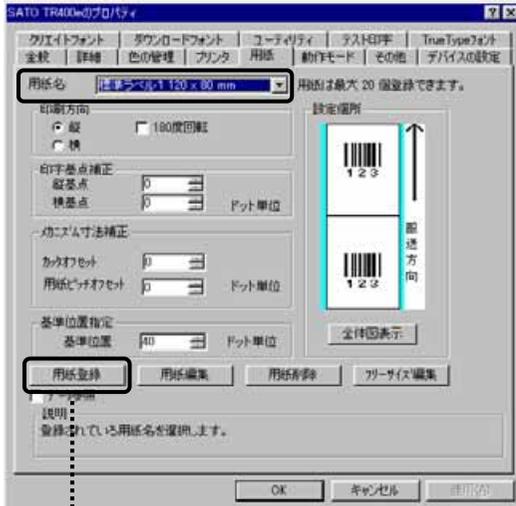
()は、TR410e の値です。単位 (ドット)

- 「基準位置」 「用紙」タブ画面で設定できます。
- 「ピッチオフセット」 「用紙」タブ画面で設定できます。
- 「カットオフセット」 「用紙」タブ画面で設定できます。

3

用紙を選びます

①「用紙」タブを選択してください。

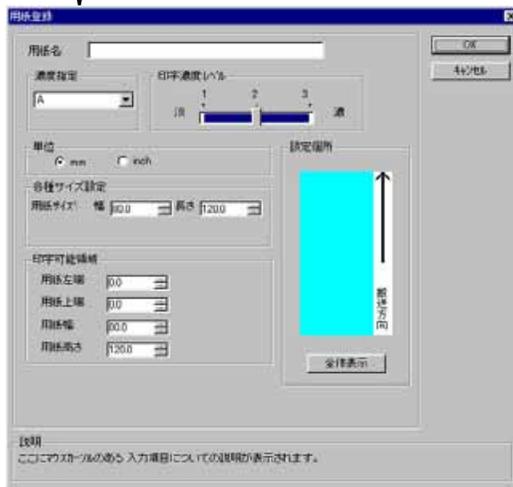


標準ラベル 1
標準ラベル 2
タグ JIS10 号
タグ JIS11 号
タグ JIS12 号
貼り合せ札



②「用紙名」の▼をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選択してください。「用紙名」には 12 種類の用紙があらかじめ登録されています。

標準ラベル 1	120 × 80(mm)	宝飾札	26 × 32 (mm)
標準ラベル 2	60 × 37(mm)	ラベル JIS20 号	25 × 32 (mm)
タグ JIS10 号	25 × 32 (mm)	ラベル JIS21 号	40 × 37 (mm)
タグ JIS11 号	40 × 37 (mm)	ラベル JIS22 号	60 × 37 (mm)
タグ JIS12 号	60 × 37 (mm)	ギフト札	14 × 45 (mm)
貼り合せ札	40 × 37 (mm)	価格表示貼札	12 × 29 (mm)



※標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細はアクセサリ CD-ROM に収められている「Windows95/98/Me プリンタドライバ説明書」の「3. 用紙」を参照してください。

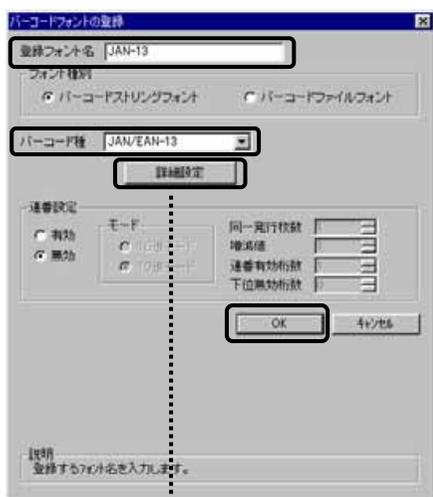
ヒント

ここで選択した用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。アプリケーションソフトによっては、あらかじめアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選択する必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

④ バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

①「クリエイティブフォント」タブを選択し、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。



②「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。

③「バーコード種」の▼をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。

④選択したバーコード種に対応する設定ダイアログが表示されます。

※ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定を行っています。

⑤設定が終了したら「OK」をクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」をクリックしてください。



以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

5 プリンタ動作を設定します

- ①「動作モード」タブを選択してください。
- ②「印字速度」の ▾ をクリックして、表示されるリストから印字速度を選択してください。
- ③仕分けマークを指定する場合は「仕分けマーク指定」を「仕分けマークあり」にしてください。

ヒント

仕分けマーク指定できるのは、「デバイスの設定」タブ画面にある「用紙設定」の状態が下記の4種類の場合となります。

- ・タグセンタホール
- ・タグヨコホール
- ・タグカドR
- ・タグアイマーク

「ラベルギャップ」、「ラベルアイマーク」の場合は表示がマスクされます。



6 カッタ付プリンタをご使用の場合は

- ①「その他」タブを選択してください。
- ②一定枚数毎にラベルをカットする場合は「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。
- ③印刷終了毎にラベルをカットする場合は「印刷終了時に用紙を排出する」チェックボックスにチェックを入れてください。

※「その他」シートに関する詳細は、アクセサリCD-ROMに収められている「Windows95/98/Me プリンタドライバ説明書」の「5. その他」を参照してください。



7

設定が終わったら、プリンタドライバのプロパティを閉じます

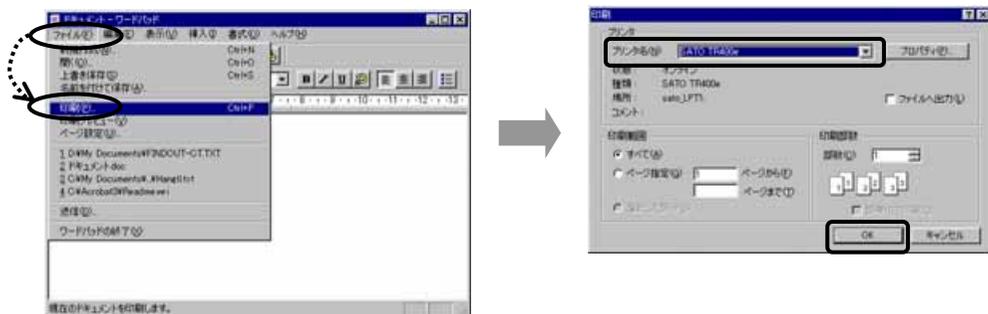
プロパティの「OK」をクリックしてください。



8

ラベル発行を開始します

印字の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せて参照してください。



ヒント

印字を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、ご使用のプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の▼をクリックし、表示されるリストから目的のものを選択することで設定できます。

またアプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選択した用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらかじめ用紙を選択する必要があるものもあります。

6. ラベル発行までの流れ (WindowsNT4.0)

アプリケーションソフトから作成したラベルレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してから行います。

① プリンタドライバの設定シートを開きます

①「プリンタ」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンをクリックしてください。

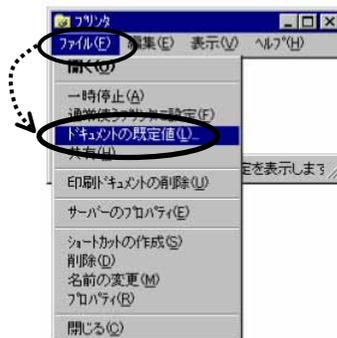
※ここでは例として「TR400e」を選択しています。

ヒント

「プリンタ」フォルダを開く一般的な方法は、 をクリックし、「設定(S)」⇒「プリンタ(P)」を選択します。



②「ファイル(F)」メニューから「ドキュメントの既定値(L)」を選択してください。プリンタドライバの設定シートが開きます。



2

プリンタの状態を取得します

①「デバイスの設定」タブを選択してください。



ヒント

プリンタの設定情報を取得します。
 情報を取得する場合、プリンタの電源を入れた状態で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
 プリンタドライバをインストールしたあとは、必ず「デバイス」タブの「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

②プリンタの電源を入れてください。

③「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
 プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」、「用紙設定」の欄に表示します。

「情報の取得」操作後の「用紙設定」状態に応じた各項目の初期値は下記の通りです。

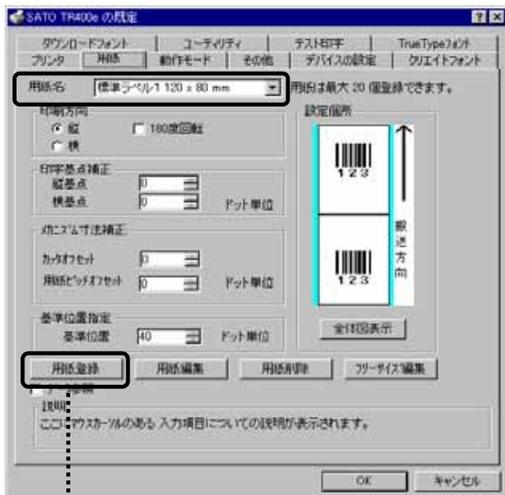
用紙設定	基準位置	ピッチオフセット	カッタオフセット	仕分けマーク
タグセンタホール	+040(+60)	0	0	設定有効
タグヨコホール	+040(+60)	0	0	設定有効
タグカドR	0	0	0	設定有効
タグアイマーク	0	0	0	設定有効
ラベルギャップ	0	-12(-18)	0	設定無効
ラベルアイマーク	0	-36(-54)	-24(-36)	設定無効

()は、TR410e の値です。単位 (ドット)

- 「基準位置」 「用紙」タブ画面で設定できます。
- 「ピッチオフセット」 「用紙」タブ画面で設定できます。
- 「カッタオフセット」 「用紙」タブ画面で設定できます。

3 用紙を選びます

①「用紙」タブを選択してください。



②「用紙名」の▼をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選択してください。

「用紙名」には 12 種類の用紙があらかじめ登録されています。

標準ラベル 1	120 × 80(mm)	宝飾札	26 × 32 (mm)
標準ラベル 2	60 × 37(mm)	ラベル JIS20 号	25 × 32 (mm)
タグ JIS10 号	25 × 32 (mm)	ラベル JIS21 号	40 × 37 (mm)
タグ JIS11 号	40 × 37 (mm)	ラベル JIS22 号	60 × 37 (mm)
タグ JIS12 号	60 × 37 (mm)	ギフト札	14 × 45 (mm)
貼り合せ札	40 × 37 (mm)	価格表示貼札	12 × 29 (mm)



※標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「WindowsNT4.0 プリンタドライバ説明書」の「3. 用紙」を参照してください。

ヒント

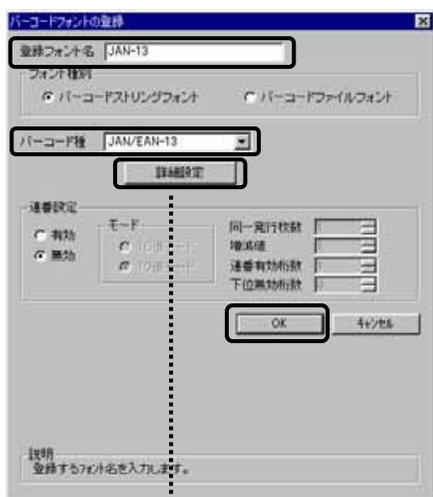
ここで選択した用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。アプリケーションソフトによっては、あらためてアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選択する必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

4

バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

①「クリエイテフォント」タブを選択し、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。



②「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。

③「バーコード種」の▼をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。

④選択したバーコード種に対応する設定ダイアログが表示されます。

※ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定を行っています。



⑤設定が終了したら「OK」をクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」をクリックしてください。

以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

5 プリンタ動作を設定します

①「動作モード」タブを選択してください。

②「印字速度」の ▾ をクリックして、表示されるリストから印字速度を選択してください。

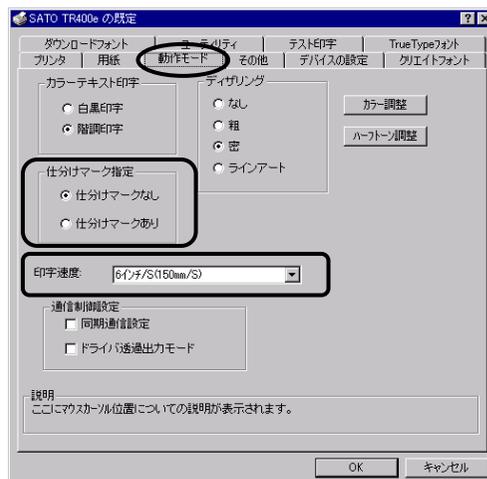
③仕分けマークを指定する場合は
「仕分けマーク指定」を「仕分けマークあり」にしてください。

ヒント

仕分けマーク指定できるのは、「デバイスの設定」タブ画面にある「用紙設定」の状態が下記の4種類の場合となります。

- ・タグセンタホール
- ・タグヨコホール
- ・タグカドR
- ・タグアイマーク

「ラベルギャップ」、「ラベルアイマーク」の場合は表示がマスクされます。



6 カッタ付プリンタをご使用の場合は

①「その他」タブを選択してください。

②一定枚数毎にラベルをカットする場合は
「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。

③印刷終了毎にラベルを排出する場合は
「印刷終了時に用紙を排出する」チェックボックスにチェックを入れてください。

※「その他」シートに関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に
収められている「WindowsNT4.0 プリンタドライバ説明書」
の「5. その他」を参照してください。



7

設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます

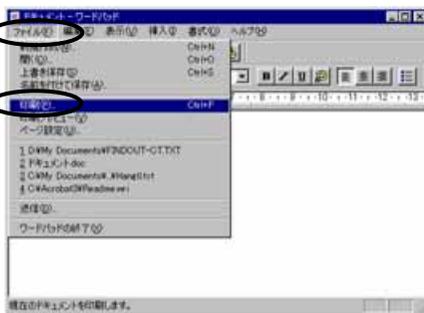
設定シートの「OK」をクリックしてください。



8

ラベル発行を開始します

印字の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せて参照してください。



ヒント

印字を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、ご使用のプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の ▾ をクリックし、表示されるリストから目的のものを選択することで設定できます。

またアプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選択した用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらかじめ用紙を選択する必要があるものもあります。

7. ラベル発行までの流れ（Windows2000/XP）

アプリケーションソフトから作成したレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してから行います。

※本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows2000 を使用しています。WindowsXP では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

① プリンタドライバの設定シートを開きます

①「プリンタ」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンをクリックしてください。

※ここでは例として「TR400e」を選択しています。

ヒント

「プリンタ」フォルダを開く一般的な方法は、 をクリックし、「設定(S)」⇒「プリンタ(P)」を選択します。



②「ファイル(F)」メニューから「印刷設定(T)」を選択してください。プリンタドライバの設定シートが開きます。



2

プリンタの状態を取得します

①「デバイスの設定」タブを選択してください。



ヒント

プリンタの設定情報を取得します。
 情報を取得する場合、プリンタの電源を入れた状態で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
 プリンタドライバをインストールしたあとは、必ず「デバイス」タブの「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

②プリンタの電源を入れてください。

③「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
 プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」、「用紙設定」の欄に表示します。

「情報の取得」操作後の「用紙設定」状態に応じた各項目の初期値は下記の通りです。

用紙設定	基準位置	ピッチオフセット	カットオフセット	仕分けマーク
タグセンタホール	+040 (+060)	0	0	設定有効
タグヨコホール	+040 (+060)	0	0	設定有効
タグカドR	0	0	0	設定有効
タグアイマーク	0	0	0	設定有効
ラベルギャップ	0	-12 (-18)	0	設定無効
ラベルアイマーク	0	-36 (-54)	-24 (-36)	設定無効

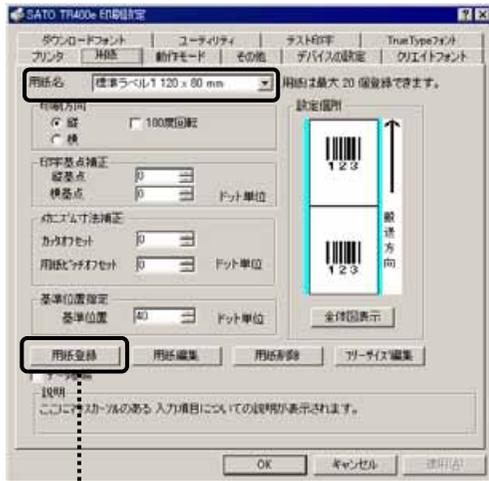
()は、TR410e の値です。単位 (ドット)

「基準位置」 「用紙」タブ画面で設定できます。
 「ピッチオフセット」 「用紙」タブ画面で設定できます。
 「カットオフセット」 「用紙」タブ画面で設定できます。

3

用紙を選びます

①「用紙」タブを選択してください。



②「用紙名」の▼をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選択してください。

「用紙名」には 12 種類の用紙があらかじめ登録されています。

標準ラベル 1	120 × 80(mm)	宝飾札	26 × 32 (mm)
標準ラベル 2	60 × 37(mm)	ラベル JIS20 号	25 × 32 (mm)
タグ JIS10 号	25 × 32 (mm)	ラベル JIS21 号	40 × 37 (mm)
タグ JIS11 号	40 × 37 (mm)	ラベル JIS22 号	60 × 37 (mm)
タグ JIS12 号	60 × 37 (mm)	ギフト札	14 × 45 (mm)
貼り合せ札	40 × 37 (mm)	価格表示貼札	12 × 29 (mm)



※標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「Windows2000/XP プリンタドライバ説明書」の「3. 用紙」を参照してください。

ヒント

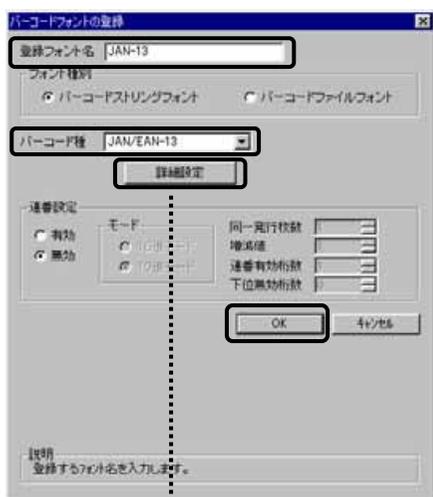
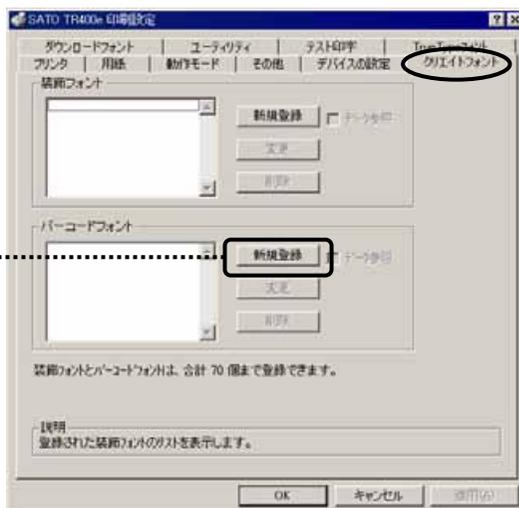
ここで選択した用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。アプリケーションソフトによっては、あらためてアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選択する必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

4

バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

①「クリエイティブフォント」タブを選択し、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。



②「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。

③「バーコード種」の▼をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。

④選択したバーコード種に対応する設定ダイアログが表示されます。

※ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定を行っています。



⑤設定が終了したら「OK」をクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」をクリックしてください。

以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

5 プリンタ動作を設定します

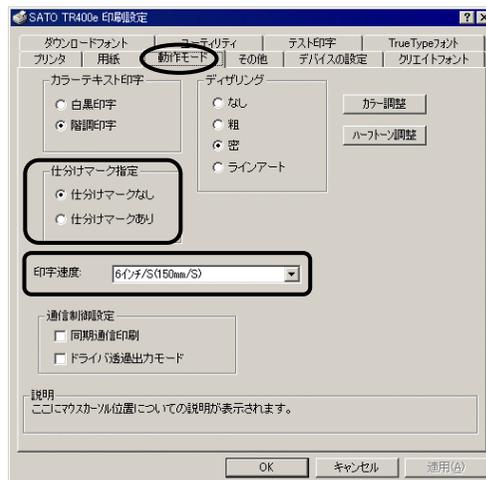
- ①「動作モード」タブを選択してください。
- ②「印字速度」の▼をクリックして、表示されるリストから印字速度を選択してください。
- ③仕分けマークを指定する場合は「仕分けマーク指定」を「仕分けマークあり」にしてください。

ヒント

仕分けマーク指定できるのは、「デバイスの設定」タブ画面にある「用紙設定」の状態が下記の4種類の場合となります。

- ・タグセンタホール
- ・タグヨコホール
- ・タグカドR
- ・タグアイマーク

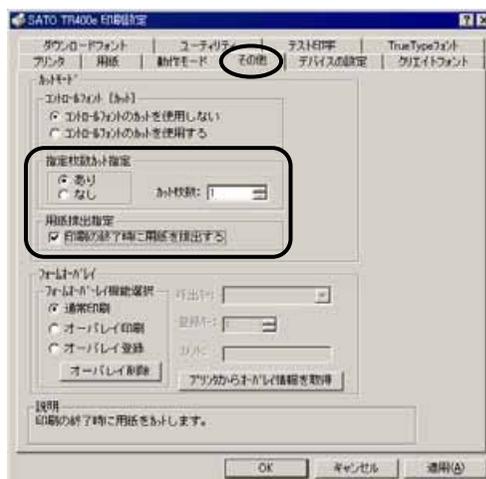
「ラベルギャップ」、「ラベルアイマーク」の場合は表示がマスクされます。



6 カッタ付プリンタをご使用の場合は

- ①「その他」タブを選択してください。
- ②一定枚数毎にラベルをカットする場合は「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。
- ③印刷終了毎にラベルを排出する場合は「印刷の終了時に用紙を排出する」チェックボックスにチェックを入れてください。

※「その他」シートに関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「Windows2000/XP プリンタドライバ説明書」の「5. その他」を参照してください。



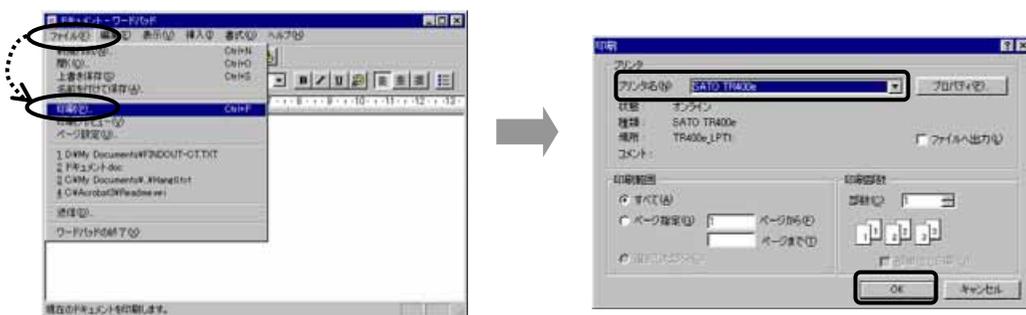
7 設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます

設定シートの「OK」をクリックしてください。



8 ラベル発行を開始します

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せて参照してください。



ヒント

印刷を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、ご使用のプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の ▾ をクリックし、表示されるリストから目的のものを選択することで設定できます。

またアプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選択した用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらかじめ用紙を選択する必要があるものもあります。

8. タグとラベルを切替えて使用するには

1 台のプリンタでタグとラベルを交換して使用する場合は、プリンタドライバを 2 度インストールすることをお奨めします。



以下の手順に沿って、プリンタドライバの設定を行ってください。

タグ発行用のプリンタドライバ設定

- ① プリンタドライバをインストール後、プリンタとの接続が完了したら、はじめにプリンタの【用紙選択】キーでモード『タグ・センタホール』を設定します。
- ② プリンタドライバの「デバイスの設定」タブ画面で「情報を取得」操作を行い、ドライバの用紙種別の状態を「タグ・センタホール」と記憶させます。



「情報を取得」をクリックすると
・プリンタ設定 「カット」
・用紙設定 「タグセンタホール」
になります。

- ③ タグに仕分けマーク(スタッカ利用時の仕分け識別用)を印字させる場合は、続けてプリンタドライバの「動作モード」タブ画面で「仕分けマーク指定」を設定します。



- ④ タグを単枚カットさせるには、プリンタドライバの「その他」タブ画面で、「指定枚数カット指定」を1枚で設定し、併せて「用紙排出指定」をチェックします。以上で、タグ発行用のプリンタドライバが設定できます。



ラベル発行用のプリンタドライバ設定

① プリンタドライバを別名称でインストール後、プリンタとの接続が完了したらプリンタの【用紙選択】キーでモード『ラベル・アイマーク(ギャップ)』を設定します。

② プリンタドライバの「デバイスの設定」タブ画面で「情報を取得」操作を行い、ドライバの用紙種別の状態を「ラベル・アイマーク(ギャップ)」と記憶させます。



「情報を取得」をクリックすると
・プリンタ設定 「カット」
・用紙設定 「ラベルアイマーク」
になります。

③ ラベルを印刷終了後にカットさせるには、プリンタドライバの「その他」タブ画面で「用紙排出指定」をチェックします。
以上で、ラベル発行用のプリンタドライバが設定できます。



タグを発行する際には

プリンタにタグをセットし【用紙選択】キーで、用紙・センサモードを「タグセンタホール」に切替えてから、前述のタグ用プリンタドライバを使用して印字します。



注意 カット動作させるためには、プリンタの設定が「カッタ」有効(カッタ・ランプが点灯)の必要があります。

ラベルを発行する際には

プリンタにラベルをセットして【用紙選択】キーで、用紙・センサモードを「ラベル・アイマーク(ギャップ)」に切替えてから、前述のラベル用プリンタドライバを使用して印字します。



注意 プリンタを「ラベル・アイマーク(ギャップ)」設定するとカット動作は無効(カッタ・ランプが消灯)になりますが、プリンタドライバの「用紙排出指定」をチェックすると、ラベル発行完了後に排出カットします。

発行時のその他の注意事項

1. 【用紙選択】キーによるプリンタの用紙・センサモードと、使用するプリンタドライバの「デバイスの設定」タブ画面の「用紙選択」状態があてないと、正しく動作しません。
2. プリンタの「DSW3-2:ピッチサイズチェック」を有効にしても、プリンタドライバを使って発行する場合は、ピッチサイズチェック機能は働きません。

9. プリンタドライバのアンインストール方法

プリンタドライバをアンインストールする手順を説明します。
(Windows95/98/Me WindowsNT4.0 Windows2000/XP)

お願い

アンインストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションは、全て終了してください。

- ① プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。
- ② 「アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
- ③ 「メインメニュー」画面より、「SATOCe プリンタ」をクリックします。
- ④ 「サトックシリーズ プリンタ」画面より、「プリンタドライバ」をクリックします。
- ⑤ 「プリンタドライバ」画面より、アンインストールするプリンタを選択します。
- ⑥ 「アンインストール」をクリックします。



メインメニュー

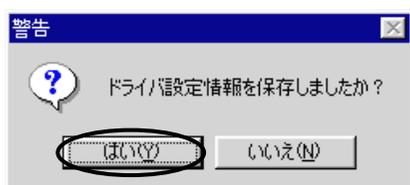


サトックシリーズ プリンタ



プリンタドライバ

- ⑦ ユーティリティでドライバプロパティを保存している場合は、「はい」をクリックします。



ヒント

アンインストールを実施すると「用紙」「クリエイティブフォント」などの指定した項目が削除されますので、ドライバの「ユーティリティ」にてファイル保存をおこなってください。
保存方法は、P.51 を参照してください。

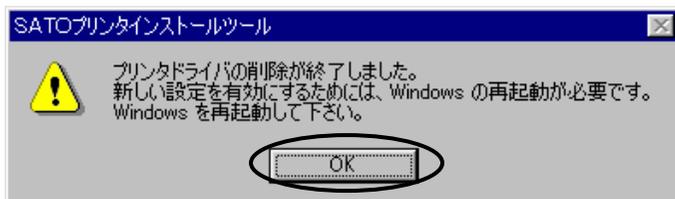
- ⑧ 表示されているプリンタドライバを削除（アンインストール）します。「実行」をクリックします。



ヒント

アンインストールを実施すると、プリンタドライバをインストールしたときにインストールした、「SATOポート」、「ステータス監視モニタ」、「プリンタ設定ツール」も削除します。

- ⑨ 「OK」をクリックします。
以上でプリンタドライバのアンインストールは完了です。
Windows を再起動してください。



10. ファイル保存方法

Windows95/98/Me のファイル保存方法について説明します。

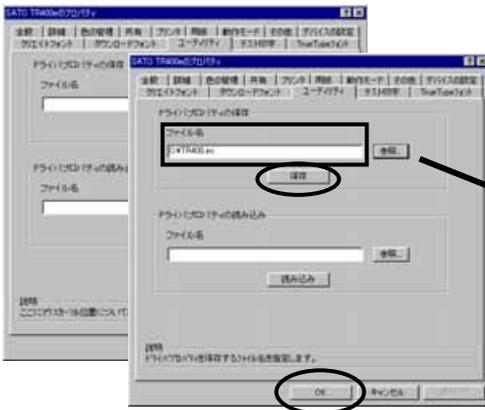
- ① プリンタドライバの「プロパティ」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。



ヒント

プリンタプロパティを開く方法は、P. 28 を参照してください。

- ② ファイル名を入力します。



ヒント

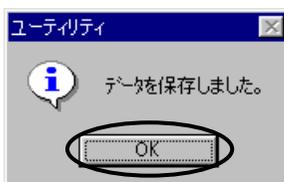
「参照」をクリックすると、任意の場所にファイルを保存することができます。



ヒント

保存するファイルは、必ず拡張子「ini」を付加してください。

- ③ ファイル名を入力し「保存」をクリックします。
「データを保存しました。」の表示後、「OK」をクリックします。



WindowsNT4.0 のファイル保存方法について説明します。

① プリンタドライバの「ドキュメントの既定値」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。

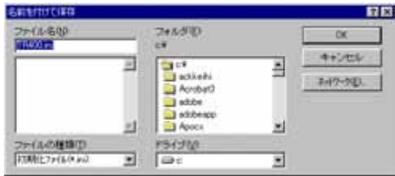


ヒント
ドキュメントの既定値を開く方法は、P. 34
を参照してください。

② ファイル名を入力します。



ヒント
「参照」をクリックすると、任意の場所
にファイルを保存することができます。



ヒント
保存するファイルは、必ず拡張子
「.ini」を付加してください。

③ ファイル名を入力し「保存」をクリックします。
「データを保存しました。」の表示後、「OK」をクリックします。



Windows2000/XP のファイル保存方法について説明します。

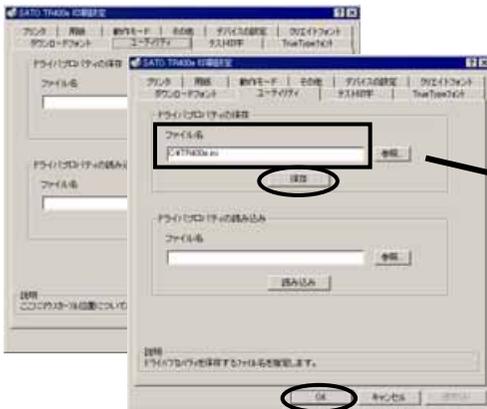
- ① プリンタドライバの「印刷設定」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。



ヒント

印刷設定を開く方法は、P. 40 を参照してください。

- ② ファイル名を入力します。



ヒント

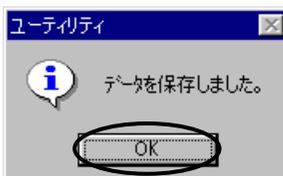
「参照」をクリックすると、任意の場所にファイルを保存することができます。



ヒント

保存するファイルは、必ず拡張子「.ini」を付加してください。

- ③ ファイル名を入力し「保存」をクリックします。
「データを保存しました。」の表示後、「OK」をクリックします。



WindowsNT4.0 のファイル読み込み方法について説明します。

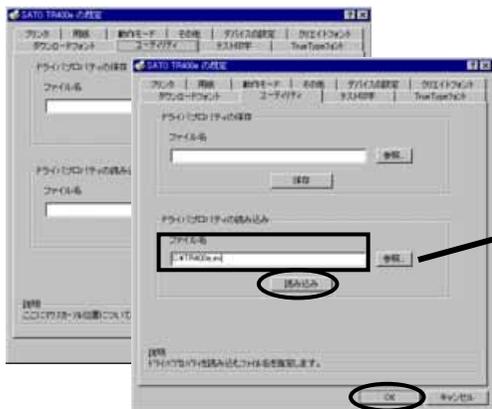
- ① プリンタドライバの「ドキュメントの既定値」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。



ヒント

ドキュメントの既定値を開く方法は P. 34 を参照してください。

- ② ファイル名を入力します。



ヒント

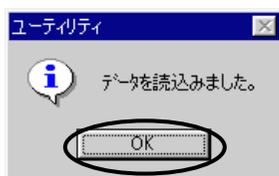
「参照」をクリックすると、任意の場所に保存してあるファイルを読み込むことができます。



ヒント

ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「ini」を付加してください。

- ③ ファイル名を入力し「読み込み」をクリックします。
「データを読み込みました。」の表示後、「OK」をクリックします。



Windows2000/XP のファイル読み込み方法について説明します。

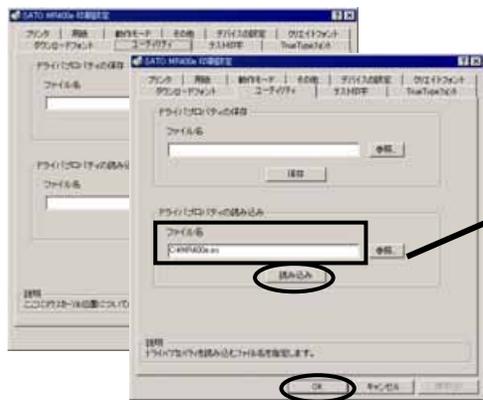
- ① プリンタドライバの「印刷設定」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。



ヒント

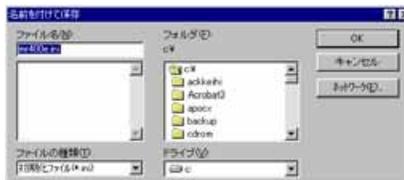
印刷設定を開く方法は P. 40 を参照してください。

- ② ファイル名を入力します。



ヒント

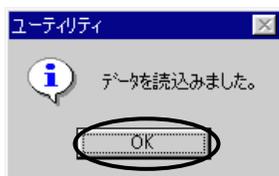
「参照」をクリックすると、任意の場所に保存してあるファイルを読み込むことができます。



ヒント

ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「ini」を付加してください。

- ③ ファイル名を入力し「読み込み」をクリックします。
「データを読み込みました。」の表示後、「OK」をクリックします。

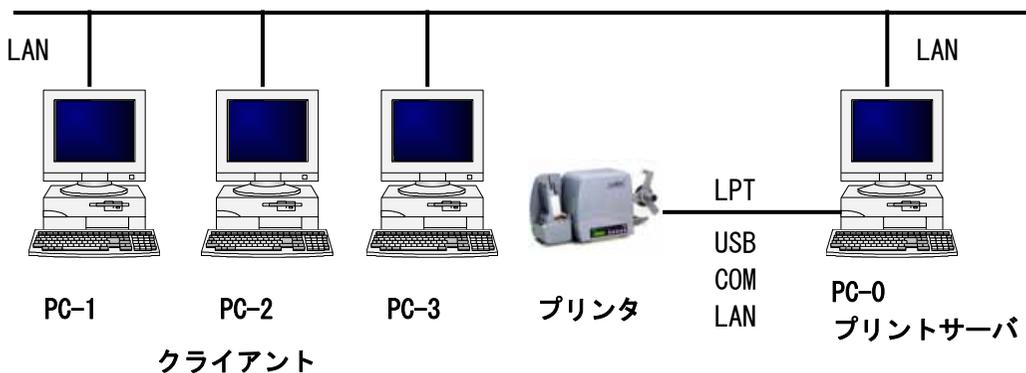


1 2. プリンタドライバ共有機能

プリンタドライバを共有設定で使用する場合のセットアップ手順について説明します。

1. 接続形態

接続は、下図に示しますように、1台のPC（PC-0）をプリンタサーバにし、他のPC（PC-1、PC-2、PC-3、・・・）はクライアントとします。また、全てのPCはLAN接続されており、プリントサーバとプリンタはLPT（もしくはCOM、USB、LAN）で接続します。



2. プリンタドライバの設定方法

- ① プrintサーバ、クライアントともにアクセサリ CD-ROM より、プリンタドライバをインストールします。

注意 1 「プリンタ」フォルダの「プリンタ追加」アイコンにて追加した場合、必要なファイルがインストールされず正常動作しない恐れがあります。（ネットワークコンピュータ上の共有プリンタアイコンのコピーも同じです。）

注意 2 クライアントにプリンタドライバをインストールする場合、SATO ポートではなくローカルポート（LPT、COM）を指定してください。

注意 3 プrintサーバにプリンタドライバをインストールする場合は、SATO ポートを指定してください。

- ② プrintサーバのプリンタドライバから正常にラベル発行ができることを確認後、プリンタドライバを「共有」に設定してください。
- ③ クライアントのプリンタドライバの出力先ポートを、サーバで設定した共有プリンタを指定します。

環 境	設定方法
WindowsNT4.0 Windows2000 WindowsXP	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」にてポートの追加を行います。 ポート名に「¥¥共有 PC 名¥¥共有プリンタ名」を指定します。
Windows95 Windows98 WindowsMe	ドライバ→「プロパティ」→「詳細」→「ポートの追加」→「ネットワーク」→「参照」にて共有 PC と共有プリンタの選択を行います。

④クライアントのプリンタドライバの双方向通信を OFF にします。

環 境	設定方法
WindowsNT4.0 Windows2000 WindowsXP	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。 注意 出力先が SATO ポート (SATO LPT、SATO COM、SATO LAN、SATO USB) の場合、本操作を行うとプロパティ情報 (クリエイティブフォントや用紙情報等) が初期化される恐れがあります。 出力先が SATO ポート以外であることを確認して本操作を行ってください。 SATO ポートが選択されていた場合は、一度ローカルポート (LPT、COM) を選択し、OK ボタンでポートの変更後に、本操作を行ってください。
Windows95 Windows98 WindowsMe	ドライバ→「プロパティ」→「詳細」→「スプールの設定」で「このプリンタの双方向通信をサポートしない」を選択します。 (選択不可になっている場合は、この操作は必要ありません。)

3. 制限事項

クライアントでは、「双方向通信」を無効設定にしているため、下記の制限事項が生じます。

- ①プリンタで発生した「用紙切れ」、「リボン切れ」などの各種エラーを認識することができません。
- ②「その他」タブの「プリンタからオーバーレイ情報を取得」は使用できません。
それに伴い「フォームオーバーレイ印刷」も使用できません。
- ③「デバイスの設定」タブの「情報を取得」と「ハードウェアバージョンを取得」は使用できません。
- ④「動作モード」タブの「動作モード」指定、および「用紙」タブの「メカニズム補正—各種オフセット」指定が制限されます。
- ⑤ステータス監視モニタは使用できません。
- ⑥ダウンロードツールは使用できません。それに伴い、ダウンロードフォント・ロゴも使用できません。
- ⑦プリンタ設定ツールは使用できません。

13. Q & A

Q1 「プリンタドライバがインストールできない」

チェック アクセサリ CD-ROM に異常は、ありませんか？

エクスプローラで CD-ROM が読めるか確認してください。

チェック 複数のアプリケーションソフトを起動していませんか？

他のアプリケーションソフトを終了させてからもう一度インストールしてください。

チェック Windowsは、安定していますか？

エラーが発生してプログラムが強制終了された後などは、Windowsが不安定な状態のため、インストールできないことがあります。Windowsを再起動して再度インストールを行ってください。

Q2 「アプリケーションエラー」「一般保護違反」

チェック Windows3.1 用のアプリケーションソフトを使用されていませんか？

Windows3.1 用のアプリケーションソフトをWindows95/98 上で使っていると正しく動作せず、エラーになることがあります。Windows95/98 用のアプリケーションソフトをお使いください。

チェック 次のメッセージが表示されていませんか？

「メモリ不足のため、正常に印刷することができませんでした。」

ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、アプリケーションソフトに必要なメモリが確保されているか確認してください。

複数のアプリケーションソフトを起動していると、印刷のためのメモリが確保されず、正しく印刷されないことがあります。他のアプリケーションソフトを終了させてから、もう一度印刷を実行してください。

「メモリ不足のため、バックグラウンド印刷ができませんでした。」

「ディスク容量が不足しているため、正常に印刷できませんでした。」

unnecessary files を削除してハードディスク容量をあげてください。

チェック 印字データに異常がありませんか？

印字データを再確認してください。設定内容を再確認してください。

別の印字データで印刷を確認してください。設定内容を再確認してください。

チェック プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。一旦、削除(アンインストール)して、再度インストールを行ってください。

Q3 「X~X LPT (USB, LAN, COM) 書き込みエラー X~X (SATOTR400 e)」

チェック プリンタは、起動していますか？プリンタにケーブルは接続されていますか？

ケーブルが接続されていないことがあります。確認してください。

チェック スプーラは、正常に動作していますか？

スプーラが正常に動作していない場合が考えられます。スプーラをやめてプリンタに直接データを送るようにしてください。(プリンタプロパティの「スプールの設定(L)」で指定することができます。)

チェック プリンタポートは、正常に動作していますか？

プリンタポートが正常に動作していない可能性があります。プリンタポートの状態を確認してください。

チェック プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。一旦、削除(アンインストール)して、再度インストールを行ってください。

14. アクセサリ CD-ROM

添付品の「アクセサリ CD-ROM」には、以下の項目を提供しています。

- | | | |
|---|---|---|
| 1. プリンタドライバ(インストール/アンインストール) | | |
| OS | プリンタドライバ対応機種 | |
| <ul style="list-style-type: none"> •Windows95 版 •Windows98 版 •WindowsMe 版 •WindowsNT4.0 版 •Windows2000 版 •WindowsXP 版 | <ul style="list-style-type: none"> •MR400e/410e •M-4800RVe •MR600e/610e •MT/MR110w •MT400e/410e •M-48Pro •TR400e/410e •レスプリシリーズ | <p>スキヤントロニクスシリーズ プリンタ</p> <p>SATOCeシリーズ プリンタ
レスプリシリーズ プリンタ</p> |
| 2. ユーティリティ | | |
| <ul style="list-style-type: none"> MR400e/410e プリンタ設定ツール M-4800RVe プリンタ設定ツール MR600e/610e プリンタ設定ツール MT/MR110w プリンタ設定ツール MT400e/410e プリンタ設定ツール M-48Pro プリンタ設定ツール | | スキヤントロニクスシリーズ プリンタ |
| TR400e/410e プリンタ設定ツール | | SATOCeシリーズ プリンタ |
| レスプリプリンタ設定ツール | | レスプリシリーズ プリンタ |
| ラバン・プチラバン設定ツール | | ラバンシリーズ プリンタ |
| <ul style="list-style-type: none"> ネットワークユーティリティ フォント作成ツール ロゴ作成ツール ダウンロードツール バーコードOLEサーバ | | <p>スキヤントロニクスシリーズ プリンタ</p> <p>SATOCeシリーズ プリンタ</p> <p>レスプリシリーズ プリンタ</p> |
| 3. マニュアル(PDF) | | |
| 使用許諾書 | | 全機種共通 |
| <ul style="list-style-type: none"> SBPLプログラミングガイド フォント作成ツール説明書 ロゴ作成ツール説明書 ダウンロードツール説明書 バーコードOLEサーバ説明書 ネットワークユーティリティ説明書 プリンタステータス監視モニタ説明書 Windows95/98/Me プリンタドライバ説明書 WindowsNT4.0 プリンタドライバ説明書 Windows2000/XP プリンタドライバ説明書 プリンタドライバアンインストール説明書 | | <p>スキヤントロニクスシリーズ プリンタ</p> <p>SATOCeシリーズ プリンタ</p> <p>レスプリシリーズ プリンタ</p> |
| <ul style="list-style-type: none"> ラバン・プチラバンプログラミングガイド ラバン・プチラバン設定ツール説明書 | | ラバンシリーズ プリンタ |
| 4. AcrobatReader のインストール | | 全機種共通 |
| 5. TCセンターの説明 | | 全機種共通 |
| 6. サービスセンターの説明 | | 全機種共通 |
| 7. ホームページ | | 全機種共通 |

CD-ROM を、CDドライブにセットすると、「メインメニュー」が表示されます。



「メインメニュー」から「SATOCe プリンタ」をクリックすると、「サトックシリーズ プリンタ」に移行します。



「メインメニュー」から「サポート・サービス」をクリックすると、「サポート・サービス」に移行します。



※画面が表示されないときは、エクスプローラで CD-ROM の「STARTUP.EXE」をクリックしてください。「メインメニュー」が表示されます。

サトックシリーズ プリンタから各項目をクリックすると各画面に移行します。

メインメニュー



サトックシリーズ プリンタ



プリンタドライバ



マニュアル



ユーティリティ



マニュアルを開覧する前に必ず、AcrobatReader をインストールしてください。

15. ご注意

●ご注意

本 CD-ROM を音楽プレイヤーで再生しないでください。スピーカを破損したり、耳を傷つける恐れがあります。製品を安全にご使用いただくために、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。フォント、ロゴデータについては、お客様にてマスターデータの管理をお願いします。いかなる時もプリンタ本体に登録されているデータは保証いたしません。

●使用許諾について

本ソフトウェアをご使用いただく上で、はじめに CD-ROM 中にある使用許諾書をご確認ください。

●動作環境について(本 CD-ROM をお使いになるパソコンは以下のスペックを推奨します。)

- ◆Pentium133MHz以上 ◆メモリ 32MB以上 ◆4倍速以上の CD-ROMドライブ
- ◆画面の表示色 32,000[High Color(16ビット)]以上の表示

●Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

●他の製品名は、各社の商標または登録商標です。